



はちろうがた 2014年3月定例会 第119号

# 議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

TEL 018-875-5810



## 湖東厚生病院 オープン間近



- ◆ 2ページ ..... 当初予算
- ◆ 3～10ページ ..... 一般質問
- ◆ 11ページ ..... 提出議案／臨時会
- ◆ 12～13ページ ..... 各常任委員会の審議
- ◆ 14ページ ..... 請願・陳情／議会のうごき

# 平成26年度予算を可決

## 一般会計当初予算

27億1,919万1千円

## 5 特別会計当初予算

18億7,783万8千円

## 上水道特別会計当初予算（支出）

2億287万1千円

3月定例会は、3月5日から14日までの10日間にわたり開かれました。一般質問は8名、審議した議案は補正予算関係6件、条例関係3件、当初予算関係8件の計17議案。そのほか人事案諮問1件、議員発議2件でいずれも原案どおり可決されました。

### ◆主な事業（一般会計）

事業名	予算(千円)	説明
デマンド型乗合タクシー運行委託料	1,853	面潟線代替交通の委託
街路灯設置工事費	18,170	LED街路灯11基設置
臨時福祉給付金	17,150	町民税非課税世帯に対して支給 国10/10
障がい福祉計画・障がい基本計画策定業務委託料	3,996	計画策定業務を委託
子育て世帯臨時特例給付金	5,500	児童手当の対象者に対して支給 国10/10
自殺対策予防対策強化事業など	1,416	自殺予防の各種事業
農業夢プラン実現事業費補助金	2,650	県補助に町が1/12をかさ上げ
若者イベント実行委員会補助金	800	地域の活性化と賑わい創出に補助
調査測量委託料（水路等）	3,586	冠水被害解消に向けた原因調査など
社会資本整備総合交付金事業	140,005	町道の補修改善、除雪の委託など
子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料	2,484	子育て家庭のニーズ調査による事業計画策定
学校給食費助成金	24,510	教育の充実と子育て支援により全額町負担
小・中学校施設再生可能エネルギー等導入工事費	37,000	太陽光パネルと蓄電池を設置
国民文化祭八郎潟町実行委員会補助金	15,460	願人坊主が伝えた民族芸能の祭典を開催する補助
町民体育館耐震診断業務委託料	2,549	耐震化対策として診断委託

# 一 般 質 問

## 蔵書を増やすために 図書寄贈運動を提唱します



石井 清人  
議員

**問** 年間図書館に約5万人、子育てホールに約7千人、イベントホールに約4千人の来客を見込んでいます。一日平均にすると168人です。町民の方がここを訪れることによってデマンドタクシーの利用が増えたり、駅前商店街の利用が増えたり、人の往来が多くなれば喜ばしいことです。

図書館の魅力は何と云っても蔵書です。図書館が開館するまでに本の寄贈を呼びかけて蔵書を増やすことを提唱します。町民や八郎潟町関東地区ふるさと会には善意の方がいるのではないのでしょうか。1千冊くらいを目標にすれば話題にもなり、寄贈

した方も町のために一役買ったような気分もなり自分たちの図書館という意識が芽生えます。仮に1千冊集まって使えるものが半分としても本の単価を1千500円とすれば75万円分のメリットがあります。寄贈された蔵書の整理に人手がかかりますが、福島県矢祭町では図書館ボランティアが活躍してくれたそうです。自分たちの図書館だという意識ができることが一番いいことだと思います。無理のない程度でこの運動をはじめると



図書館

提唱いたします。

**教育長** さまざまなジャンルの本が揃っていて落ち着いた環境の中で読書できる図書館が必要であり、図書館をメインとした複合施設が駅前建設されます。提言された図書寄贈運動は必要と考

えている。実施時期は図書館がオープンし受け入れ体制が整った段階からと考えている。寄贈図書については例えばジャンルごとに見出し、発行後3年以内の本とか、細部について検討して実施する。町民が図書館に本を寄贈することによって身近に感じてもらうなど多くの町民が利用する図書館運営に努めて参ります。

### 転作率の平準化に 反対してほしい

**問** 昨年の夏あたりに唐突として減反廃止の話が持ちあがってきましたが、5年後には減反廃止と決定されました。秋田県は農業県で良質米の大生産地でありなが

ら、国策に従い約4割を主食米以外の作物を作付けしています。もともと秋田県の転作率は市町村で違いがあり、それは一等米比率や経営安定対策の面積率、あきたこまち以外の品種面積などを加味して傾斜配分されていて、努力した市町村は転作率が低かったのです。八郎潟町農業は昭和60年頃から面潟地区の各集落始め一日市地区でも転作団地が始まり団地化率70%、転作達成率100%、一等米比率も高く、平成19年から始まった経営安定対策では集落営農4組織、認定農業者約70名、面積力バ

ー率は70%以上で全県でも上位です。そのように一生懸命取り組んできた町と、転作未達成を繰り返したり、農業生産性の低い市町村の転作率は県は平準化しようとしているようです。先人たちが努力してきた八郎潟町農業の実績を守っていくために転作率の平準化に反対してほしいと思います。



転作大豆

**町長** 転作率の格差縮小については戸別所得補償制度の本格実施にあたり本県に補助の条件として指導されたものです。平成22年6月に市町村間格差縮小に関する専門部会が設置され市町村の意見交換の場を設け検討結果を踏まえ県米政策推進協議会が県に意見具申し格差縮小を進めて参りました。本町の転作率が低いのは生産調整を守ってきたことなど当然の結果ととらえている。本年度の専門部会で格差縮小を望む自治体が相当数ありましたが現状維持を要望した。今後についても現状維持の立場から対応していく。

一 般 質 問

入札制度の適正化と  
透明性の確保を



金 一義  
議員

**問** 入札と言えば「談合」という言葉が連想される。実際に談合が行われているかは分からないが、「入札前に落札者が決まっている」という情報が時折新聞で報道される。本町ではこのような事実はないと信じるが、入札の適正化と透明性を確保する必要があると思う。

**町長** 本町の土木工事と建設工事に係る今年度の入札参加者のランク別業者数とランク別業者金額は。

**町長** 土木工事では、町内土木Aが6社、町内土木Bが5社、町外が10社となっている。建設工事ではランクはなく町内建築業者8社で、ランク別の業者金額は、土木Aは金額区分なし、土木Bは800万円以下の工

事、建築は金額区分なしとなっている。

**問** 町長は、地方自治法の精神をどのように理解しているか伺う。地方自治法では、一般競争入札が原則で、指名競争入札は例外であると理解しているが、町長の考えは。

**町長** 本町の入札については、地方自治法に基づき執行されていると考えている。

**問** 本町では、議会の議決を要しないものの契約はどのようなにしているのか。

**町長** 地方自治法施行令の規定にあるように、工事請負で予定価格130万円以上の場合、指名競争入札により入札を実施、130万円以下の場合、特殊性がない限り、2社以上から見積書を徴して随意契約としている。

**問** 本町の契約の大多数が指名競争入札で行われているが、施行令167条では指名競争入札にできる場合を3項目にわたって規定しているが、本町では、第何号に該当するとして指名競争入札と

しているのか。

**町長** 第3号の一般競争入札に付することが不利と認められるときに該当するものと考えている。

**問** 価格に加え、価格以外の要素も総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式について、本町では、上水道建設のときに導入しているが、今後、導入の意思があるかどうか。

**町長** 今後、特殊工法などの企業の技術力が必要とされる工事がある場合には、総合評価方式の導入について検討する。

**問** 駅前開発事業における工事契約は

**町長** 今年度計画している駅前開発事業における工事契約は、指名競争入札か。一般競争入札及び電子入札の方法等があるが、どの方法を採用されるのか。また、その採用の理由も。

**町長** 駅前施設の入札方法については、一般競争入札が原則であること

を前提としつつ、一般競争入札の方法を採った場合のデメリットも十分検討しながら、今後、入札方法を決定したい。

**国の農政転換への対策は確実か**

**問** 県も、国の農政転換を受け、平成26年度一般会計予算は、農業関連に重点を置いた予算とある。本町としても、基幹産業である農業に対して、本町独自の対策事項を作成する必要があると思う。農家の高齢化対策や集落営農、新規就農者に対する町の取り組み、大規模農家育成の農地の集約、農地の基盤整備等、その構想は。



稲刈り前

**町長** 近い将来を見た場合、個人の認定農家の皆さんも大変大切だが、農機具などの経費の削減、作業の効率化に向かうためにも、集団、集落法人化へ向けた支援を考えた。

**問** 県と25市町村で作る「あきた移住促進協議会」が発足し、現役世代の本県出身者とその家族、県外出身者で定年退職前後のシニア層を主なターゲットに4年後までに、年間100人の県内移住を目指すところだが、協議会における本町の考え方は。

**町長** 本町の第5次基本構想で、定住化の促進を掲げている。人口減対策として、移住促進は重要な課題なので、空き家バンクの開設や移住奨励金制度など十分な検討をしたい。目標については、現時点では示せない。

# 一 般 質 問

## 注目される駅前にぎわい事業



柳田 裕平  
議員

駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト事業について

問 平成26年度で町民が最も注目しているのがこの事業であると思います。



駅前開発用地

\*工事着工を前にして改めて町長としての想いを述べよ。

\*工事・備品等の入札や発注については、地元業者も対象にするとか下請け業者として参加できるように配慮してもらいたい。

\*町の建設関係団体との話し合いは必要ではないか。

\*プロジェクト全体で町が負担する事業費・ランニングコストについては、税金等が見込まれない状況下でどのように考えているか。

町長 このプロジェクトは名前のとおり、駅前がにぎわい、町民がふれあい、町民が元気になれるように、この施設を拠点として様々な施策を展開していきたいと考えております。木造建築で大規模工事となり

ますので、県の格付けを受けていない町の業者が元請けとなるのは困難であると考えております

が、駐車場等の外周工事では受注の機会を持ちたいと考えておりますし、施設の備品等の発注は町内業者を優先的に考えております。

町の建設関係団体との話し合いについては、むしろ建設業協会・商工会の方から要望を出していただければ検討いたします。

事業費・ランニングコストについては、町の財政は健全化されており財政調整基金等の積立金もあり十分対応できると考えております。施設の職員については、常駐の正職員は2名で司書の有資格者1名を採用したいと考えており、正職員を増やすのではなく現在の定数のなかで採用してなおかつ臨時職員については図書ゾーン2名・子育てゾーン1名・交流ゾーン2名の5名を考えております。

学校給食費の無料化について



小学校給食

問 町長が子育て支援に力を入れていることは十分理解しておりますが、この事業は年間約2千500万円の支出が伴い、しかも実施して3年目になることから、町の財政状況など役場内でよく話し合い・検証してみる必要があると思えますが町長のお考えは。

町長 今まで通り保護者の経済的負担を軽減し子育て支援のため平成27年度以降も進めて参りますが、アンケート等で検

お礼として町広報を1年間お送りしているが、今後はイメキヤラグッズを送ることも考えている。また、贈答品については効果はあると思いますが難しい点もあります、PRについてはいろいろ検討してみます。

証はしたいと考えております。

ふるさと納税について

問 県内では2年前あたりからこの制度が浸透してきたようですが、町では現在どのようにPR・お礼等について対応しているのでしょうか。

また、贈答品等のサービス実施も含めて今後の対応はどのように。

町長 町としては、現在ホームページでの紹介や関東ふるさと会会員へのパンフレット配布などに対応している。

# 一 般 質 問

## 町主要施設・公共施設



菊地 文人  
議員

**問** 駅前開発情報交流拠点施設維持管理費が平成27年度3千679万円、平成28年度3千826万円と示されているが、平成29年以降の推移は。

**町長** 平成29年度以降も約3千800万円。

**問** 駅前開発情報交流拠点施設の人件費にコーディネーターとあるが、必要か。

**町長** 館長補佐的な役割で必要と考える。

**問** 中央児童館並びに青年婦人会館ロマンの里の平成27年度以降5年間の維持管理費と利用者数は。

**町長** 中央児童館は年間270万円、約1万1千人の推移で見込み、



八郎潟警察官駐在所

大規模改修費は想定していない。ロマンの里は年間65万円、7千から7千500人の推移で今後外壁修理が考えられる。

**問** 今後利用者数の減少や改修等を含む維持管理費がかさむので廃止または統合の考えは。総務省が「公共施設等総合管理計画」の策定を自治体に要請し、計画策定に要する経費については特別交付税措置も予定しているが。

**町長** 今のところ無し。

**問** 八郎潟警察官駐在所を駅前開発に伴い、駅前

または湖東消防署八郎潟分署近辺に移転しては。また、「空き交番」を解消するための統合という選択もあるが。

**町長** メリットは大きいですが、所管する秋田県警の意向、用地の確保、建設費予算など課題がある。町として十分検討し関係機関と協議したいと考える。

**問** 役場耐震調査結果に基づき、今後の方針を定めるためのプロジェクトチームが立ち上がっているが現況は。庁舎は「減築」という建物の階数と荷重を減らして耐震性を確保する減築工法も検討するべきでは。

**町長** 昨年は八峰町役場庁舎視察、来年度は小学校空き校舎改築移転する小坂町を視察予定。減築だと3階まででその場合でも耐震補強も必要。今後維持管理費がかさむので検討する。



役場庁舎

### 過疎について

**問** 過疎とは、過疎対策とは。

**町長** その地域で暮らす住民の生活水準や生産機能の維持が困難になる状態を示し、住民福祉の向上や雇用の増大を図り、多面的・公益的機能の維持を図るもの。

**問** 過疎地域の要件と過疎の概況は。

**町長** 本町人口は昭和60年度8千200人、平成22年度6千600人で

減少率が19・6%となり19%以上の人口要件に該当する。また財政力要件は平成22年度から平成24年度までの3年平均の財政力指数が0・49以下だが、本町は0・26で要件を満たしているため4月に指定される。

**問** 過疎の制度による優遇措置とは。

**町長** 地方債の制限に規定する経費に該当しないものも過疎対策事業費で、さらに将来財政負担軽減のため、元利償還に要する経費の70%相当額を地方交付税基準財政需要額に算入できる。

**問** 過疎地域自立促進計画策定の時期は。

**町長** 過疎地域自立促進特別措置法第6条の規定により自立促進方針に基づき議会の議決を経て計画を定める事ができる。7月下旬県ヒアリング、8月中旬総務省ヒアリング、9月定例会で町計画議決をお願いし、議決後、国に計画書を提出。平成26年度でも活用していきたい。

# 一 般 質 問

## 八郎潟町のトップセールス



加藤千代美  
議員

**問** 町長は平成20年の選挙公約の中で「農家と消費者がタイアップした生産、販売体制を作り上げ、ブランド米としての（八郎潟米）を定着させ、お米の消費拡大、農業所得の増加を図る」。また、認定農業者100人、集落営農組織10団体、さらには、直売所を支援して、販売拡大を進めることにより生産農家が増える仕組みを立ち上げたいと公約致しています。

**町長** 70%達成したと思っております。

**問** TPP問題が提起されてから市町村間での産地間競争が激しくなると想定される、そのため地域の特産品開発が活発化している。

国では平成26年度にトレサビリティがはつきりとした物であれば、産地名をブランド保護し、海外を目指して販売すると言っています。

今の段階では、鹿児島県の黒酢、鳥取砂丘のらっきょう等があがっている。我が町においても、特産品になり得る物があると思うが、町長は特産品についてどのような考えをもっているのかお聞かせ願いたい。

また、海外まで想定しなくともやがて国内においても産地間競争が激しくなることを考えると、今あるものに八郎潟町のロゴマーク、ニャンパチ、あるいは浦城のマーク等をつけ商標登録し、トレサビリティを付した物を添付し販売戦略を早い内から対策を整える必要があるのではないかと。

**町長** 町の特産品でありますけれども、マガモ、いちじく羊羹、オケ、タル、願人どぶろくであります。

**国の教育委員会制度の改革が実行された時町長は、町の教育をどのような方向付けされるのでしょうか**

**問** 国では今教育委員会制度の改革を目指して議論をしているようであるが、その内容を見てみると、滋賀県に起きたいじめから端を発し、誰も責任をとらない教育委員会から責任の所在を明らかにするために行政のトップに、まだ確定はしていないが、教育委員長と教育長権限を持った人を首長が任命できるシステムになるような報道がなされている。

仮にこのようなシステムが、導入された場合に町長は、八郎潟町の教育をどの様な形に持って行きたいと考えているのか、所見をお聞かせ願えばありがたいです。

**町長** 新しい法案が施行される際には、本町の教育行政に、首長としてどうかかわるか、法案

内容を見きわめながら判断し、対処してまいります。

### 学校給食について

**問** 今学校給食に2千万円の予算を昨年計上していましたが、そのときの当局の説明では、保護者の経済的負担の軽減、教育の充実に資するためと、子育て支援のためと言ったことでありました。

しかし私に届いている町民の声は、「衣食住足りて礼節しる」という言葉があるように現在の満たされた飽食な社会状況では、衣食住は、若干の人を除いては生活に困窮している人が我が町においてはいくつかという声であります。

親が、子育てをしていく

上で子供に食事を与えることは、親としての最低限度の義務であると考えられる人が多いようである。給食に2千万円の予算を計上するより、今の変化の激しい教育行政に対応するような、もっと子供達の将来を見据えた、八郎潟町小、中学校で学んだことを誇りに思えるような先進的な教育環境を整えてほしいという声であります。

**町長** 柳田議員に対する回答と同様。



八郎潟小学校

# 一 般 質 問

## 気概ある農家に町独自の支援を



北嶋 賢子  
議員



いちじく羊羹



八郎潟のマガモ肉

**問** 小さくても、やる気のある農家は、全て農業の担い手。我家は認定農家なので、該当する補助制度があります。高岡地域に、学校給食への野菜の作付けを頑張っている農家が増えています。耕作放棄されていた畑も無くなりつつある状況下で、ビニールハウスを建

てて、冬季野菜に挑戦希望の農家にも支援を。

**町長** 町では、新年度予算で農業夢プラン実現事業の町単による高上げを計上している。担い手農業者の複合経営による、収益の確保を狙いとして実施するもので、制度を大いに利用していただきたい。

### 地場産業の育成 で雇用の充実を

**問** 3月は渡り鳥たちの北帰行。大潟村のラムサール条約の指定を心待ち

している一人です。マガモの孵化から加工、販売まで個人任せにしないで、今こそ事業の展開を。人の動く条件はあり、道路事情を整備、交流人口を増し、食って買ってもらう。マガモの加工、野菜の加工等6次産業化も必要と思う。宝の持ちぐされと言わせない様に。

**問一、問二**共に駅前のにぎわい活力の一助になると思うが。

**町長** 指摘の様に後継者問題等、事業展開に足踏みしている事も確か。

**町長** 法の改正により、高齢者への肺炎球菌ワクチン接種が定期予防接種となる。本町は、法に基づき対象者・接種方法・助成等に就いて詳細に把握できた段階で助成を検討する。

人々や施設の問題で、どのような支援が必要か、協議の場を設け、駅前、にぎわい、ふれあい元気プロジェクトに波及すべく支援は必要と考え、町独自でも実行すべきものは、今後共進めて参る。

**問** 口町内循環バスの運行を廃止となり、デマンド型乗合タクシーが登場しました。月に一度母と湖東総合病院に行きます。5月1日から、湖東厚生病院での診療開始連絡が告

### 高齢者対策として

**問** 高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種に補助を。

**問** 潟上市や井川町では既に実施しています。一



デマンドタクシー停留場

知されてました。待合室は、お茶が出ないだけでさながら、サロンに変わります。デマンドタクシーには有難いけれど、どうも電話をかけるのが苦手で、「井川町の様に定時に町内を巡るバスがあれば」待合室での皆さんからの要望でした。

**町長** 地域を支える路線バス、八郎潟線の継続運行を考慮すると、現時点では考えていない。が、高齢者の外出、買物支援の為に循環バスの運行も必要になると思う。駅前建設される施設の利用状況を見ながら検討をする。



# 一般質問

## 人口転出ペースの加速と町の長期展望



近藤美喜雄 議員

**問** 総務省人口移動報告によれば、秋田県は生産年齢と言われる15〜64歳では、全市町村で転出超過がみられる。このことは、将来町の活力を削ぐ大きな要因となる。本町の状況は、町の長期計画に及ぼす影響は。

**町長** 20年10月から25年10月の5年間で生産年齢人口は515人12.2%減少、税の減収、町政コストや高齢者の増大による社会保障費の増大など深刻な課題である。県の「人口減少社会に対応する行政運営のあり方研究会」と連携しながら、町独自の施策も考える。今後は第6次基本構想を基にすすめたい。

### 湖東厚生病院の運営赤字の見直し

**問** 開院を間近に控え、医師の確保と救急対応の

見直しは。赤字は「湖東地区医療再編計画」に基づき、県と4町村が26〜30年度まで補助することとしているが、運営赤字の原因はなにか。



湖東厚生病院

**町長** 現在、正職員10人、非常勤3人が予定されている。救急は手術対応出来ないため出来ない。赤字の原因は医師が少ないこと、手術などが行われないので、経営的に利益をあげにくいことなどがある。

### 新たな農業農村政策

**問** 新経営所得安定対策では数量払い飼料作物が注目される。しかし、多

収性専用品種には栽培上や売りさばきにも問題がある。農家指導は。また、15年からの本格導入に備え、14年に栽培試験展示園を設けては。

**町長** 種もみの確保、加工、販売等問題も多く、国、県に要望している。試験展示園は今年度は考えていない。

**問** 国の活力創造プランにあわせた町の農業所得倍増プランは。

**町長** 地域再生協議会、農業指導センターで対応を考えていきたい。

**問** 農地の集積は加速する。担い手である認定農家、集落営農組織は年齢構成などからみて、見直しあるいは農業生産法人などへの誘導は。

**町長** 認定農業者は、更新時に本人と協議し対処する。現在集落営農で法人化できた組織はない。

### 駅前開発事業

**問** 木造平屋(約2千㎡)の発注にあたり、町内業者が参加できるチャンスはあるか。建築一式工事としての発注が予想され

るが、工種ごとの分割発注は出来ないか。また、町外業者との共同企業体(JV)の取り扱いは。完成後の施設全体の管理調整部門は。

**町長** 建築工事、駐車場等の外構工事、地中熱関係工事の3分割の発注も考えている。外構工事については町内業者への発注を考えた。JVについては今は考えていない。

なお、施設全体の運営は「情報交流施設運営協議会」を設立し、各ゾーンの連携した取り組みと利用率の向上を図る。

### 大雨の洪水・冠水被害軽減策

**問** 台風など大雨が予想される場合、残存湖の水位を思いきって下げたおけないか県へ要請を。

26年度の水路の流量調査とその方向付けに期待する。中嶋地区から先の水のさばきが問題、川口地区まで新たに水路を開設するか、下川原地区のポンプ場を改修し、川の堤防を越して強力で排水

する方法が考えられるが。**町長** 防潮水門の管理にあたっては、効果的かつ迅速な水位調整を行っていた、大きく管理の徹底をお願いする。このたびの大雨に備えた調査の後、処理方法について検討したい。

### 広告塔を内向きから外向きに移設

**問** 「家の後」の広告塔を「ニャンパチ」のデビューや国文祭の開催を視野に、高速のアクセス道と7号線の交差付近に移設できないか。後藤選手の応援にも効果。

**町長** 町外へのPRとしては、現在地は適当でない。ただし、土地所有者の関係、新設か移設か、時期を含め、実施に向けて検討する。



広告塔

# 一 般 質 問

## 駅前開発と地場産業の育成は 同時進行で!!



村井 剛  
議員

**問** 町の活性化に向け、駅前開発が動きだした。行政は、インフラ整備をもって役割を終え、あとは「町民がいかにか活用するかである」と考えるきらいがある。イベントも、それ自体が目的化し、「後に、何も残らなかつた」と言う事例が多い。

この度の駅前開発は、少子高齢化・人口減少・経済の低迷等を打破する起爆剤と位置づけ、真に町の活性化を生み出すものでなければならぬ。

空洞化する商店街・PPPがらみで進む米政策の見直し、本町農業の発展に資するかは不透明である。本町農業の確立・農商工の連携による地場産業の育成に本腰を入れるべきである。今後の具体策を問うとともに、次の手だてをも問う。

① 冬期農業の確立に向けた誘導策

- ② 農・商工連携による特産品の開発
  - ③ 駅前施設の建設に、地元業者の参入
  - ④ アクセス道路の延伸に積極的な対応
- 町長** ①米政策の見直しには、国の政策に添い対応し、農業者の育成に取り込む。複合経営の促進を考え、経営所得安定対策・県の農業関連補助制度の活用・転作に関わる作物への助成・認定農業者への支援・夢プラン実現事業への嵩上げ等、条件整備を図り、冬期農業への誘導につなげたい。
- ②農商工連携による地域の活性化は、町の重要課題である。駅前開発では、軽トラ市や商工会・観光協会の協力を得、賑わいを創出し、地域の活性化を図る。合わせて、特産品の創出に向け、協議したい。
- ③地元業者への発注が、出来ないものか、考えてみたい。
- ④アクセス道路の延伸は、地域の生活、産業振興観光開発、駅周辺の交流人口増・賑わい創出からも必要不可欠である。実現に向け、強く要望していく。



駅前開発

### 八郎瀧町地域防災計画の見直しについて

**問** 県では、度重なる豪雨災害により、県地域防災計画の見直しが行われ、県内市町村でも見直し作業が進んでいる。

①本町の「警戒区域」の指定状況と「避難勧告指示」の基準は？

②本町地域防災計画の見直しスケジュールは？

③ハザードマップ改訂版、標識、避難看板等の設置、住民説明会の実施計画は？

**町長** ①県の現地調査の結果、土砂災害警戒区域、同特別警戒区域は、三倉鼻・真坂・浦大町地区に15ヶ所ある。指定は、

平成26年度である。大雨による避難勧告指示基準は、本町における経過雨量を基準に、気象庁の発表する各種防災気象情報と現地の状況をふまえ、総合的に判断して対処する事としている。

尚、昨年度の災害では、現地の把握等に課題があり、新しい基準づくりが必要である。

②この3月の県防災会議で、全面見直しの県防災計画が決定される。本町では、この県計画をふまえ、平成26年度に作業着手し、平成27年3月定例議会に提案する。

③災害の場所に応じた避難場所への誘導に配慮が必要と感じ、標識や看板の設置を図る。又、ハザードマップに変更が生じた時は、その改訂版を作る。尚、見直しは、大幅になるので、住民説明会の開催も視野に入れ、周知徹底を図る。

### 改築後の「湖東厚生病院」への赤字補填について

**問** 報道によれば、平成26年度の収支で2億4千

万円もの赤字が見込まれ、その内、国の特別交付税措置分を除いた1億2千463万円について県が2/3・関係4町村が1/3を負担する事となるが、その負担割合が決裂との事、その後の経過と今後における支援内容を問う。

**町長** 平成26年度の4町村の負担割合は、協議の結果、建設費の負担割合と同じと決定。本町の負担額は、1千310万円となる。27年度以降は、収支決算状況、入院・外来利用者等の実績等を考慮して負担割合を定めるとしている。又、この支援策は、「湖東地区医療再編計画」に基づき、平成30年度までであり、その後については、考えていない。



湖東厚生病院

# 平成26年 八郎潟町議会 3月定例会提出議案結果報告

議案番号	審 議 案 件	結 果
議案第 4 号	平成25年度八郎潟町一般会計補正予算（第 7 号）について	全員賛成可決 (欠席 1)
議案第 5 号	平成25年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）について	全員賛成可決 (欠席 1)
議案第 6 号	平成25年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	全員賛成可決
議案第 7 号	平成25年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第 3 号）について	全員賛成可決
議案第 8 号	平成25年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）について	全員賛成可決
議案第 9 号	平成25年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第 3 号）について	全員賛成可決
議案第10号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例について	全員賛成可決
議案第11号	八郎潟町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
議案第12号	八郎潟町課設置条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決 (反対 2 金一義、 加藤千代美)
議案第13号	平成26年度八郎潟町一般会計予算について	賛成多数可決 (反対 1 北嶋賢子)
議案第14号	平成26年度八郎潟町国民健康保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第15号	平成26年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計予算について	全員賛成可決
議案第16号	平成26年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れについて	全員賛成可決
議案第17号	平成26年度八郎潟町公共下水道事業特別会計予算について	全員賛成可決
議案第18号	平成26年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計予算について	全員賛成可決
議案第19号	平成26年度八郎潟町介護保険特別会計予算について	全員賛成可決
議案第20号	平成26年度八郎潟町上水道特別会計予算について	全員賛成可決
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全員賛成可決
発議第 1 号	八郎潟町議会委員会条例の一部を改正する条例について	全員賛成可決
発議第 2 号	八郎潟町議会会議規則の一部を改正する規則について	全員賛成可決

## 議案第13号に対する反対討論

北 嶋 賢 子 議員

町長は施政方針に於いて、アベノミクスに景気回復の兆しあり、と期待感を持たれたが、消費税、TPP、秘密保護法等、安倍内閣は国民を何処に連れて行くのか恐ろしく思う。この状況下でも農林漁業者を豊かにし、中小業者に仕事を与える事で町税が発生し歳入となる。今冬の福祉灯油の対象は、2,400世帯中800世帯もあり愕然とした。八郎潟という抜群の知名度を生かし、町民の懐を暖める策が先決と思う。

### 第 1 回

## 臨時会

平成26年 1月15日開催

#### 議案第 1 号

平成25年度八郎潟町一般会計補正予算（第 6 号）について

▶▶ 全員賛成可決

#### ◆主な内容

灯油価格の高騰により町民の生活に影響を与えていることから、灯油購入費の一部を町民税非課税約800世帯に5千円を助成するための経費4,000千円。「八郎潟町空き家等の適正管理に関する条例」に基づき13区の焼失建物について行政代執行による空き家解体処分委託料1,491千円。学校給食の調理場備品として1,943千円をそれぞれ追加しました。

#### 議案第 2 号

平成25年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）について

▶▶ 全員賛成可決

### 第 2 回

## 臨時会

平成26年 2月14日開催

#### 議案第 3 号

土地の取得について

▶▶ 全員賛成可決（欠席 1）

#### ◆内 容

秋田県市町村未来づくり協働プログラム事業の本町プロジェクト、「駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト」事業実施に必要な用地を取得するため議会の議決を得るものです。

八郎潟町字中田67番地 4 ほか 3 筆

5,218.48㎡

取得金額 8,714万8,617円

# 各常任委員会の審議

## 総務産業 常任委員会

### ◆平成25年度一般会 計補正予算関係

**問** 秋田県未来づくり協働プログラムの施設建設（駅前）に関して地元業者の活用を検討してほしい。

**答** 工事の中で町内業者が施工可能な部分があれば検討したい。共同企業体についても、補助事業となることから、県に確認しながら検討したい。

**問** 真坂石塚の土砂災害復旧が年度内に工事を行えない理由について。  
**答** 登記簿上畑地となっており、県のほうから原則治山事業では該当できない旨話があった。ただし、農業委員会が発行する非農地証明があれば

地目変更も認められると考えられるため農地でないとみなし治山事業で行えるとのこと。非農地証明を発行するためには農業委員会と協議する必要があるため時間がかかってしまった。

### ◆条例、平成26年度 当初予算関係

**問** 上下水道料金の引き上げ適用時期について。

**答** 4月30日までの経過措置が含まれるため、6月分までは消費税増税前の税率で請求します。

**問** 福祉課を二分し保健課を新設することに依り職員の振り分け、また増員はあるのか。設置場所はどこか。

**答** 現在福祉課には14名の職員がいるが、福祉課7名、保健課7名の予定

としている。臨時職員を新たに増やすことは予定していない。業務量の増大により、町民の皆さんに一番身近な福祉・医療・保健の事務に遅れやミスなどが生じないように、

課の業務の管理者である課長が細部まで業務を把握できる管理体制を整える必要があることから、機構改革を行うものであり、設置場所は、窓口が必ずなため、今の福祉課の場所に福祉課と保健課を置くことになる。今の保健センター内の職員も、

福祉課と保健課に分かれることになる。

**問** 秋田県町村電算システム共同事業組合に参加した場合、本町の経費はどれだけ削減できるのか。

**答** 共同化することにより約25%、1千200万円の削減となる。平成26年度9月に参加することから、本年度は現行システムと並行稼動となり、削減効果は平成27年度以降となる。

金の配分次第では2ヶ年にまたがる可能性がある。

**問** 基本料金を5立方から10立方にする考えについて。

また、損益計算書、貸借対照表から経営は厳しいのでは。

**答** 少量の使用者に対して有利なので、変更は考えていない。

**問** 湖東厚生病院で行う予定の将棋、囲碁大会について。

**答** プロ棋士による対面対局や女流棋士による初心者講座である。また、実施場所は、湖東厚生病院の260㎡のロビーで、病院側も是非利用してもらいたい意向である。

**問** 新規就農についてであるが、学校を卒業した息子を他に就職させないで家の農業に従事させる場合、これは新規就農となるか。また、新規就農となるには、新しく土地を買って行わないといけ

**問** 町道天道田梨ノ木線の防雪柵の延伸について。  
**答** 平成26年度の完成を見込んではいないが、交付



総務産業常任委員会



教育民生常任委員会

### 教育民生 常任委員会

ないと聞いたが、そうなのか。

**答** 国の制度である新規就農は、畑作に対応した補助制度で、まだ平成26年度に関して、国からは、はっきりした指針は出されていない。しかし、昨年と同様であれば、親が稲作、子が畑作を行う場

合、耕作名義人・作目・会計を別個にしないと新規就農の対象とはならない。そのため、本県の農業には馴染んでいないのが現状である。土地に関しては、買わなくても借りるのであっても構わない。

**要望・意見** ○馬場目川

河口のごみ処理と廃船処理について両委員会連携し、議会として行動を検討する。

○馬場目川の浚渫に関して、県に強く要望してほしい。

○上水道料金の値上げの抑制努力を要望する。

**問** 補正でおいだ400万円は使わない。今回更正すべきでなかったか。

歳入の200万円は、対象者がいないのだから100万円あっても十分。そういう予算の考えはないのか。

**答** 3月補正の説明資料の提出の期限があるので、3月議会に間に合わない。

**問** 町の各施設に自家発電設備を備えるのは当然である。設置場所の検討を十分しているか。

**答** 設置することは決定しているが、詳しいことは現段階では決まっていない。

**問** 駅前開発に伴い、農村環境改善センターの使用頻度が下がる見込みはないか。

**答** 民間などへの貸出で使用料収入をあげるために広報はしているか。

**答** 駅前開発の竣工は27年度を予定しているが、

使用頻度は下がると予想している。

基本は町民優先の使用なので、PRは考えていない。

**問** アメシロ防除で、予約してしまうと雨が降っても散布しなくてはならない。見回りや、発生の確認をしてからの対処や、個人的な対応も必要になるのでは。

**答** 高齢者世帯も多くなってきたので、的確にやれるかどうか配慮が必要。基本は自分の屋敷内は自分でやることである。予算が許せば、噴霧器を各町内会ごとに配備できないかと話しあっている。今年度は、背負って歩く噴霧器3台を予算措置している。

**問** EMぼかしについて、活用の追跡調査をしたことがあるか。そうしたことをしないと、予算の垂れ流しだ。食育や畑作などと絡ませるべき。

**答** 調査は今年度はしていない。

**要望・意見** ○町民の理解が得られる、費用対効果を考えた予算の配分をして欲しい。それが本来に必要でやらなければならぬといったスタイルで取り組むように。

○馬場目川河口から内水面漁協周辺までの散見される木材、粗大ゴミなどの処理について、漁港周辺一帯に腐敗した廃船の撤去処理について。調査のうえ県に要請するよう、委員会の一致した意見として当局へ要望する。

○説明全般から受けるイメージとして、会の解散、会議の回数減、参加者減少など町の活力が失われているようだ。特に高齢者は仕事をもち、外で動き回っているところは医療費が抑えられている。解散した会も含め、外へ出て仕事をしてもらうような手当てを考えるべき。

## ■ 請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議結果
1	平成25年12月13日	陳情	秋田市	公益社団法人 認知症の人と家族の会 秋田県支部代表 佐藤 敦子	要支援者への予防給付を市町村事業とすることについての意見書提出に関する要望書	教育民生	採 択
2	平成26年1月21日	陳情	秋田市	秋田県平和委員会 理事長 風間 幸蔵	特定秘密保護法の廃止を求める意見書について	総務産業	不採択
3	平成26年1月29日	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	特定秘密保護法の廃止を求める陳情	総務産業	不採択
4	平成26年1月29日	陳情	秋田市	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村 秀也 秋田県労働組合総連合 議長 佐々木 章	最低賃金の改善と中小零細企業支援の拡充を求める陳情	総務産業	採 択
5	平成26年1月30日	陳情	秋田市	秋田市ろうあ協会 会長 武田 享一	手話言語法(仮称)制定を求める意見書採択に関する陳情書	教育民生	採 択
6	平成26年2月3日	陳情	東京都	日本青年団協議会 会長 立道 斉	これからの勤労青年教育のあり方に関する要望書	教育民生	採 択
7	平成26年2月18日	陳情	秋田市 潟上市	秋田県教職員組合 執行委員長 山 縣 稔 秋田県教職員組合男鹿南秋支部 支部長 石井 孝雄	地方自治体の臨時・非常勤職員の処遇改善と雇用安定のための法改正に係る意見書採択に関する陳情書	総務産業	採 択



## 議会のうごき

### 1月

- 4日 消防出初式
- 9日 湖東3町商工会新春賀詞交歓会
- 15日 議会運営委員会、議会全員協議会、議会第1回臨時会
- 17日 例月出納検査(監査委員)

### 2月

- 1日 合同厄祓い・還暦祝
- 7日 消防協会男鹿潟上南秋支部総合防災訓練
- 8日 町体育協会スポーツ賞授与式・講演会
- 13日 湖東地区行政一部事務組合臨時議会
- 14日 議会運営委員会、議会第2回臨時会
- 17日 例月出納検査(監査委員)
- 18日 県町村電算システム共同事業組合議会

- 20日 県町村議会議長会自治功労者表彰・理事会
- 26日 議会運営委員会、議会広報編集委員会
- 27日 湖東総合病院運営委員会

### 3月

- 5日 議会定例会(14日まで)
- 7日 中学校卒業式
- 8日 婦人会総会
- 13日 幼稚園卒園式
- 14日 小学校卒業式
- 17日 例月出納検査(監査委員)
- 17日 八郎湖周辺清掃事務組合議会
- 19日 八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会
- 24日 議会広報編集委員会
- 24日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会総会
- 25日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 29日 保育園卒園式

◆議会広報編集委員会  
委員長 石井 清人  
副委員長 加藤 千代美  
委員 伊藤 一義  
伊藤 秋雄  
三戸 留吉

今季の雪は、名残りを忘れじと、止む時を知りません。当町では、例年に比べ雪害自体少なかったのですが、特筆すべきは、関東、甲信地方の多雪被害です。本年度は、100年に一度の大雪、大雨と天候の異変を何度となく聞かされました。

先般、たざわこ芸術村で「リキノスケ、走る!」を観劇する機会に恵まれ、理紀之助が、貧農に苦しむ農民を助けるため「よく見て、試して、考える!」と、実践し、行動する姿が描き出されています。私達も、日頃から災害に対応する備えと、不断の努力を心掛けておきたいものです。(あつお)

## 編集後記